

経営理念：利用者『最善の利益』を図り、地域の福祉に貢献する

保育の方針 1. 子どもの人格・人権を尊重し、一人ひとりの思いを大切にします 2. 子どもの発達に即した援助・保育をします  
3. 子どもが安心して過ごせる生活の場にします

保育目標 ◆じょうぶな身体（健康）◆ たしかな考え（理性・認識）◆ゆたかな心（感性・情緒）◆よき仲間（協調性・社会性）



## こりす 2歳児クラス便り

令和5年6月20日  
文責 大角 千代美

### 自分の言葉で伝える

### ～探索からの会話の喜び～

梅雨の季節、雨の日は室内でゆっくりと過ごし、天気の良い日はたっぷりおひさまの光を浴びながら散歩をして、アジサイやカタツムリなど沢山の自然を感じています。気温の変化が厳しく体調を崩しやすい時期でもあります。衣服調整を確りと行い、元気に過ごしたいと思います。

先日14日はお弁当の日でした。しかし、天気は思わしくなく今にも雨が降ってきそうな状況でした。それでも子ども達は「お弁当を持って出かきたい」気持ちが強く普段は声を掛けないと動かない子ども達が自らトイレに行ったり、水分補給をする等、率先してやっていました。せっかくのお弁当の日、合羽を着用して出かけようと準備をし、合羽をまだ持って来ていない子は保育園用を借りて出かけました。散歩の途中で蝶々や花を見つけると目をキラキラさせながら手を伸ばしている姿が見られました。「ちょうちょさん、どこいくのかな？」とえいとさん。ひなのさんは「雨でいないんだよ」と探します。「蝶々さん、今、遊んでいるんじゃない」とすかさず手を伸ばして捕まえようとしますが上手くいきません。「ほうら、掴まえた」と蝶々の羽を親指と人差し指で軽く掴んで見せると大喜び。「見せて、見せて」「見えないよ」と前に進みます。今年は蝶々が異常発生しているのでしょうか？大根畑の上にはものすごい数の蝶々が飛び回り子ども達も静かに手を動かしながら捕まえていました。上手く捕まえられる子もいれば保育士が捕まえてあげても羽を動かした瞬間に驚いて逃がしてしまう子など様々。この季節に見られる花や虫などに興味を持ち、元気で色々な発見ができるよう過ごしたいと思います。



苦情・相談解決制度 本園の保育や処遇等に意見・要望がありましたら、ご連絡なく申し出て下さい。

受付担当者 主幹保育教諭 榎並 理恵 解決責任者 園長 中根 賢誠

第三者委員 丸田瑞穂(099-482-2927) 横峯友里子(099-474-1851) 山口 和美(090-5473-5866)